

# JASMA 会報

2014年1月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

## CONTENTS

新年ご挨拶	1
年頭所感	2
新年賀詞交歓会開催される	3
第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品決定	3
JIAM2016開催概要決まる	4

## 新年ご挨拶

一般社団法人日本縫製機械工業会

会長 中村 和之



年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の我が国経済は、アベノミクス効果もあって、一部に不安定要因は残るものの、生産、輸出等経済活動に持ち直しの動きが見られ、後半から企業収益の改善、設備投資の

持ち直し等、緩やかに回復が見られました。

一方、本年4月には、消費税率が8%となることが決定されているため、国内経済への影響が懸念されていますが、政府はこれに備えて各種政策の実施を予定しており、2020年の第32回東京オリンピックの開催に向けてのインフラ投資や観光需要など直接的、間接的な経済効果も期待されます。

本年は「午（うま）年」です。午年は干支の中で、太陽が最も高く上がった状態を示し、最も勢いが盛んな年と言われております。今年一年が、力強い年になることを期待したいと思います。

世界経済については、依然として回復力は弱いものの、今後次第に底堅さが増して行くことが期待されております。アパレル産業におきましては、中国市場のウェイトが縮小していますが、ベトナム、カンボジア、ミャンマー等を中心とした東南アジア、南アジア市場は拡大しており、この様な変化に的確に対応し、成長発展の機会を失うことがないように努力を払っていくことが重要です。今後も日本を含めたアジア地域の繊維・アパレル産業全体が、大きく発展することを期待しております。

当工業会としては、このような世界経済の動きの中にあつて、国内関係業界との連携を強化するとともに、中国、ドイツ等の海外関係業界団体との連携、協調を密にして、本年は次の2つの事業を中心に進めていく所存です。

一つ目はJIAM展です。次回のJIAM展は、日本企業のモノづくりの考え方や最新技術を発信する場として、2016年4月に大阪で開催することといたします。JIAM2016実行委員会を中心に、より本格的な取り組みを本年始めます。今後とも皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

二つ目は、家庭用ミシンを使ったモノづくりの普及促進です。「第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」は、今回も多くの作品が寄せられました。応募校数は625校におよび、素晴らしい出来栄の力作やアイデア溢れる個性的な作品が4,787点寄せられました。来る3月8日（土）には表彰式を開催し、入選作品の発表を行う予定です。今後も本コンクールをベースに、個性豊かな作品の創造とミシンソーイングにより、我が国の「モノづくり」文化のすそ野が拡大することを期待しております。

なお、本年5月に当工業会の収支バランスの回復に向けた取り組みの一環として、工業会事務所を移す予定です。詳細については、別途ご案内いたします。

最後になりますが、私共としては、世の中の変化の方向や内容を的確に踏まえ、会員企業間のコミュニケーションを充実させ、経済産業省のご指導をいただきながら、関係諸団体とも連携を図ることで、当工業会の着実な運営と発展に向けて努力してまいります。

本年の皆様の一層のご活躍とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 年頭所感

経済産業省製造産業局  
産業機械課長 須藤 治



平成26年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年末、大胆な金融緩和、機動的な財政出動、民間投資を喚起する成長戦略のアベノミクスの「三本の矢」により、我が国経済は着実に回復しつつあります。本年は、

こうした動きを確実な成長軌道へつなげていくために「民間投資を喚起する成長戦略」を推し進め、長期にわたる低迷から復活に向けて歩み始めた我が国製造業の振興を強力に進めたいと思います。

昨年12月に成立した産業競争力強化法には、成長戦略の確実な実行を図るため、企業の技術力や創意工夫を生かした新たな規制改革の道筋を創設する「企業実証特例制度」や「グリーゾーン解消制度」、事業再編の促進等の諸制度が盛り込まれています。また、民間投資活性化等のための税制として「生産性向上設備投資促進税制」の創設、「中小企業投資促進税制」の拡充を措置いたしました。

本年4月には消費税率引き上げが予定されており、増税後の反動減も懸念されているところですが、こうした影響によって景気の腰折れやデフレ脱却に向けたチャンスを見逃してはなりません。そのため、上記の各種支援策を講じて国内景気の下支えや、果敢にチャレンジする企業を応援してまいります。

また、アジアを中心とする新興国の成長を取り込み、日本の優れた技術を世界に提供していくことも重要な課題

です。そのため、最先端のインフラシステム輸出や国内外の企業の連携等による海外展開を後押しすべく、関係部署とも連携しながら、トップセールスや海外進出のための環境整備等を積極的に実施してまいります。

一方、中長期的な視点に立つと、我が国は高齢化や労働力人口の減少、エネルギー供給不安といった諸課題に囲まれており、課題先進国であるという状況に変わりはありません。こうした中、世界中の国々は、日本が如何に対処するのか注目をしています。そのため、今後ともこういった課題を解決していくと同時に、新しいビジネスをいかに創出していくのかということが益々求められています。

その一例として、昨年6月に閣議決定された日本再興戦略には、当課が厚生労働省とともに進めている「ロボット介護機器開発5カ年計画」が盛り込まれています。今や団塊の世代が65歳以上となり、今後10年間で日本の総人口に占める高齢者の割合は30%に達します。そのため、介護を巡る様々な課題に対して有効な手段を講じていくことが急務となっています。今後こうした課題解決の一端をロボット技術が担うとともに、関連するロボット産業がさらに発展するよう、各種施策を実施してまいります。

産業機械課は、これからも皆さんの生の声を聞き、それを産業政策に反映させていきたいと思っておりますので、良いアイデアやお困り事があつたら、気軽にお声を掛けてください。

最後になりましたが本年が皆様方にとって更なる飛躍の年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶と代えさせていただきます。

## 新年賀詞交歓会開催される

当工業会の平成26年新年賀詞交歓会が、1月16日(木)午後1時30分から日本工業倶楽部3階大ホールにおいて開催されました。経済産業省をはじめ各関係団体と当工業会関係者、報道関係者等、111名の出席のもと盛大に執り行われました。

開会にあたり、当工業会の中村会長から次の挨拶がありました。

アパレル産業の動向は、中国市場のウェイトが縮小し、東南アジア、南アジアの市場拡大の動きが見られる。このような市場の変化に的確に対応し日本を含めたアジア地域の繊維アパレル産業の発展に貢献していきたい。次回のJIAM2016は、2016年4月6日から9日までインテックス大阪で「革新的ソリューションと高度加工技術」をテーマに、「国際アパレル機器&繊維産業見本市」として開催する。

実行委員会を中心に取り組んで行くので、関係者の支援、協力をお願いしたい。「第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」は、今回も多く作品が寄せられた。ミシンソーイングの裾野を拡げ、モノづくり文化の拡大に貢献したい。現在、工業会の業務見直し、経費改善等の改革に取り組んでおり、引き続き進めていきたい。

続いて、ご来賓として出席された経済産業省製造業局産業機械課 須藤課長殿から、縫製機械産業は日本のモノづくり産業の中で、早くから国境の枠を取り払ってグローバルに活動している。更にメーカーという枠に留まることなく、次世代を担う子どもたちにミシンの楽しさを知ってもらうため、ホームソーイング普及促進を進め、家庭用ミシンの文化を広げる活動を実施している。また、業界全体で知恵を出し合い、JIAM展の効果的な運営方法について検討しており、競争するところは競争し、協調するところは協調し、「枠を超えて」新しい文化、産業を創ろうと努力されているところに敬意を表す。行政として「枠を超える」努力を支援して、民、官が協力して明るい年にしていきたいとの挨拶がありました。

その後、当工業会の近藤副会長からドイツ・VDMAストラウブ専務理事を紹介し、乾杯発声の後、和やかな雰囲気での歓談が始まり、中締めを眞壁副会長が行い、盛況のうちに終了しました。

その後、当工業会の近藤副会長からドイツ・VDMAストラウブ専務理事を紹介し、乾杯発声の後、和やかな雰囲気での歓談が始まり、中締めを眞壁副会長が行い、盛況のうちに終了しました。



中村 和之 会長



須藤 治 産業機械課長



近藤 章吾 副会長



眞壁 八郎 副会長

## 第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品決定

全国の小学生、中学生、高校生を対象に実施した「第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」は、応募校数については前回は上回る625校、応募点数は4,787点にのぼりました。厳正な審査の結果、入選作品などが次

のとおり決定しました。

なお、入選作品表彰式は、平成26年3月8日（土）、1時30分より日本工業倶楽部（東京都千代田区丸の内）で執り行います。

### 1. 作品賞

- 最優秀賞 5点
- 優秀賞 25点
- アイデア賞 3点
- 佳作賞 36点
- 努力賞 179点
- 全国ミシン商工業協同組合連合会技術賞 1点

### 2. ホームソーイング振興最優秀校賞

- 小学校の部 我孫子市立新木小学校（千葉県）
- 中学校の部 板橋区立志村第三中学校（東京都）
- 高等学校の部 埼玉県立鴻巣女子高等学校（埼玉県）

## JIAM2016開催概要決まる

今回の「国際アパレル機器&繊維産業見本市」JIAM 2016 OSAKAの会期、会場、テーマが以下のとおり決まりました。

現在、実行委員会で取り組み方を検討しておりますので、詳細が決まり次第、本会報でご紹介してまいります。どうぞご期待下さい。



—革新的ソリューションと高度加工技術—  
Innovative Solutions & Advanced Processing Technology

2016年4月6日(水)～9日(土) インテックス大阪 2・3・4・5号館  
6th(Wed)-9th(Sat)/April 2016(4days) INTEX OSAKA Hall No. 2, 3, 4 & 5

## アパレルと繊維産業のグローバルな発展への道しるべ 革新的ソリューションへ導く世界初の新製品が集結する国際見本市!

世界のアパレル・繊維産業は、衣料品生産が中国から他のアジア諸国にシフトする動きが見られる一方、人件費の高騰傾向に伴い、高機能、高品質なアパレル機器や繊維産業機器による省力化、省人化、高生産性のニーズが高まっています。

このような市場動向に対応するアパレル・繊維産業の総合的な見本市として**JIAM 2016 OSAKA**は、新しいビジネスパートナーとソリューションの双方に出会える情報交換の場を提供します。

**JIAM 2016 OSAKA**は、関連分野との協調と連携を図り、工業用縫製機器、家庭用縫製機器に加え、繊維製品、素材、アパレル、ファッション、アクセサリ、副資材、縫製品、自動車航空機関連、インテリア、アウトドア、ライフスタイル、ホームソーイング、IT&ソフトウェア、機能設備機器、流通、物流ロジスティック、環境対応、そして情報サービスなど幅広くグローバルな提案をいたします。

URL:<http://jiam-show.com/>

### 編集後記

ソチオリンピックが真近に迫ってきました。注目は男子ジャンプの葛西選手。41歳でオリンピック7度目の出場にして、初めて金メダルを狙える位置にいます。熱い情熱と人一倍の向上心が、彼を長年トップレベルのジャンパーにとどめてきました。JIAM2016のテーマは「革新的ソリューションと高度加工技術」。葛西選手のように、日々、鍛錬を重ね、高度で革新的な製品・サービスを生み出していければと思います。(S.M)

### JASMA 会報

Vol.10 No.4 2014年1月31日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会  
発行責任者：湯原 孝志

〒105-0003 東京都港区西新橋1-14-12  
TEL. 03-3597-0470 FAX. 03-3597-0477

URL <http://www.jasma.or.jp>  
Eメール [info@jasma.or.jp](mailto:info@jasma.or.jp)

本JASMA会報は、当工業会ホームページに掲載しております。